

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 1～3期

| 期 | (注2) | | | 科目名 | 申込締切 | 受講開始 | 受講料 納入締切 | スクーリング 試験締切 (正午) | S単位 | 受講料 |
|---|------|-----------|---------|----------------|--------|--------|-------------|------------------------|-----|---------|
| | ～20 | 21 ～23 | 24 ～ | | | | | | | |
| 1 | ★ | ■ | | 保健医療サービス論 | 4 / 5 | 4 / 16 | 4 / 26 | 5 / 8 | 1 | 5,000円 |
| | 心理系 | | | 統計情報を見る眼 | | | | | 1 | 5,000円 |
| | | ★ | ■ | 社会福祉援助技術総論(注1) | | | | | 2 | 10,000円 |
| 2 | | | 心理系 | 老年心理学 | 4 / 19 | 4 / 30 | 5 / 10 | 5 / 29 | 2 | 10,000円 |
| | | | ■ | 精神保健福祉の制度 | | | | | 1 | 5,000円 |
| | ◆ | ★ | | 精神保健福祉論Ⅲ(旧カリ) | | | | | 2 | 10,000円 |
| | ◆ | ★ | ■ | 社会保障論(注1) | | | | | 1 | 5,000円 |
| | ◆ | ★ | ■ | 心理福祉心理学 | | | | | 1 | 5,000円 |
| 3 | 共通基礎 | | | ボランティア論 | 5 / 3 | 5 / 14 | 5 / 24 | 6 / 12 | 1 | 5,000円 |
| | | ★ | ■ | 社会福祉援助技術論A(注1) | | | | | 1 | 5,000円 |
| | | | ■ | 精神保健福祉のサービス | | | | | 1 | 5,000円 |
| | ◆ | ★ | | 精神保健福祉論Ⅱ(旧カリ) | | | | | 2 | 10,000円 |
| | | ★ | ■ | 社会福祉援助技術総論(注1) | | | | | 2 | 10,000円 |
| | 心理系 | | | 認知心理学 | | | | | 2 | 10,000円 |

●申込上の留意点

(注1) 平成26年度配本の教科書を使用している科目。必要に応じて資料配付します。

(注2) ◆=平成14~20年度入学者 ★=平成21~23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください(必要事項はすべてメールでご連絡します)。

※ 申込締切日以降に手続きを行います。受講許可者に対し、受講開始日までに講義資料および受講料納入依頼書をそれぞれ別便でお送りいたします。

また、すべての科目につきまして、「試験要領」は郵送いたしますが、TFUオンデマンド上でも、受講開始日以降にダウンロードできるようにいたします。

なお、後期(オンデマンド11以降)は、すべてダウンロードでご対応いただく予定となっておりますので、ご了承ください。

※ オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013~2015版 p.11、2009-2011★版および2002-2008◆版 p.9に記載がございます。
必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

● 「2つの講義(試験)は同時に視聴(受験)できません」と表示される場合『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.61~62に対処方法が掲載されています。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●特講・福祉心理学4(スクール・カウンセリング)

- ・教師とスクール・カウンセラーの関係性により、援助を必要とする生徒までたどり着けるかどうかが決まっていくことが印象深いです。まずはこの講義の内容を教育者が理解していくことがこれからの悩める生徒の助けになっていくと感じました。
- ・教育や福祉の現場で機関間連携とか包括的支援などが大切だとよく言われていますが、異なる立場でどう関わればいいのか考えさせられました。異なる立場を理解する重要性、そのテクニック等、大変勉強になりました。また、日常生活にも生かせる大切な視点だと思いました。
- ・スクール・カウンセラーの実務・実情を知り、細かい配慮を要する責任の大きな仕事であることを学びました。しかし、先生がスクール・カウンセラーのやりがいについて教えてくださり、本当に尊い仕事だと感じました。

●カウンセリングI

- ・インテークの段階で終結までをある程度予測し取り組まれている、というお話が特に印象に残りました。そういう専門性を身につけるために、今回のスクーリングで学んだことを1つずつ勉強したいと思いました。
- ・カウンセラーとクライアントの限界、原理・原則について理解不十分だと気がつきました。相談とカウンセリングの違い、転移、逆転移について、もっと学びを深めていきたいです。他者を理解する前に、自分自身の特性や考え方の癖、資質について理解しようと思います。
- ・「専門職は常に学ぶ姿勢を忘れてはいけない、むしろ学びながら常に成長するのが専門職」「また、相手が答えを見つけられるようサポートしていく(環境を整えていく)ことが大切」という言葉。今の自分の仕事と通ずるものがあり、印象に残るとともに再確認できました。

●医療・福祉経済論

- ・社会福祉も国の政策のひとつであり、これらが成り立つためには国や地方自治体の経済がしっかりしていなければならないことが分かった。また、何事にも考察のうえでは数字的根拠の分析が必要であり、経済学の知識が求められることが分かった。受講者人数は少なかったが、行政や法人運営に携わる人にはぜひ受講をお勧めしたい科目だと思った。
- ・数字を通して東北の高齢化率の高さを痛感させられ、このまま人口が減少していったら、私が住む町は一体どうなっていくのだろうと考えさせられました。今後経済を支えていく私たちがどうするべきか考える機会となりました。